

## 第14回日本病理学会カンファレンス 2017 犬山

テーマ：酸化ストレス・レドックス研究の曼陀羅的展開

日本病理学会主催の「第14回日本病理学会カンファレンス」が愛知県犬山市で開催されます。本会は日本病理学会会員、特に若手会員が、臨床家から先端生命科学までの研究者と、十分な討議と交流を行う場を提供するために開かれます。今回のテーマは、「酸化ストレス・レドックス研究の曼陀羅的展開」とし、この方面の第一線で活躍中の若手から中堅の先生方に講演をお願いしました。これらの先生方とのディスカッションを是非楽しんでいただきたいと思います。お気づきのように犬山の地は慢性肝炎の組織分類が決められた所として病理診断医にも縁深いため、話題として慢性肝炎～肝癌も含めさせていただきました。若手病理医の発表も大いに期待しております。酸化ストレス・レドックスに関係が深くても浅くても結構ですので、是非この機会に自分の仕事を今回のテーマの切り口で熟考してみてください。1題でも多くの演題を持ち寄りその知見を共有することで、実りある会にしたいと思います。

会 期：平成29年7月28日（金）13時～29日（土）12時30分

会 場：名鉄犬山ホテル（名鉄犬山遊園駅から徒歩8分）

愛知県犬山市犬山北古券107-1、TEL 0568-61-2211

世 話 人：豊國伸哉（名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学）

招聘講演：

7月28日（金）1日目

「親電子化合物とレドックス」

熊谷 嘉人（筑波大学医学医療系 環境生物学）

「酸化ストレスと神経変性疾患」

柴田 亮行（東京女子医科大学医学部 病理学）

「C型肝炎ウイルス排除後の肝疾患の新たな課題」

日野 啓輔（川崎医科大学 肝胆臓内科学）

「肝癌・肺癌のNGS解析からの展望」

柴田 龍弘（東京大学医科学研究所 ゲノム医科学）

「低酸素適応げっ歯類ハダカデバネズミの老化耐性・がん化耐性」

三浦 恭子（北海道大学遺伝子病制御研究所 動物機能医科学）

7月29日（土）2日目

「酸化ストレスとプロテインキナーゼ」

竹腰 進（東海大学医学部 分子生命科学）

「触媒性2価鉄プローブの開発と応用」

平山 祐（岐阜薬科大学 薬化学）

「抗酸化酵素ペルオキシレドキシシン(PRX)4とmetabolic syndrome」

山田 壮亮（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 病理学）

「Keap1-Nrf2 システムと発がん」

本橋 ほづみ（東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御）

「低温プラズマ技術の医療・生物応用」

豊國 伸哉（名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学）

一般演題（ポスター発表）

申込方法：下記ホームページよりお申し込みください。

参加登録期間 4月28日（金）～6月23日（金）

演題登録期間 4月28日（金）～6月2日（金）

URL: <http://14th.jspc.academy/>

事務局（問合先）：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学大学院医学系研究科・生体反応病理学

「第14回日本病理学会カンファレンス」事務局

TEL 052-744-2087, FAX 052-744-2091

E-mail: [jspc14@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:jspc14@med.nagoya-u.ac.jp)（担当 赤塚慎也、水谷恵子）